

学会参加報告書

日本機械学会 M&M2019 材料力学カンファレンス

慶応義塾大学院 総合デザイン工学専攻

小茂鳥研究室修士1年 羽山元晶

私は 2019 年 11 月 2 日～4 日に九州大学伊都キャンパスにて開催された日本機械学会 M&M2019 材料力学カンファレンスに参加しました。この会議は材料力学に関わる研究を総合的に取り扱った学会で我々の研究分野である金属の他にも、ポリマーやゴムなどと、材料に関する研究を広く取り扱った学会です。

今回、私は材料の疲労挙動と損傷評価という OS のうち評価手法のセッションにて発表を行いました。このセッションでは疲労現象にまつわる現象の評価や測定について議論が行われました。私の発表は「静的な荷重下における材料表面に生起した残留応力のその場測定」というタイトルで、現在進めている疲労過程における残留応力の変化挙動の新たな測定・評価方法に関して発表いたしました。発表は国内外合わせて 4 回目ということもあり、しっかり準備もできており緊張もなく自信をもって発表でき、自分の伝えたい内容をしっかりと聞いてくださった方々に伝えることができたと思います。発表後の質疑応答の時間では 5 分間の質問ながら多くの方から質問やご意見をいただき、今後の研究を進めていくうえで非常にためになる時間となりました。

最後に貴重な発表の機会を与えて下さった小茂鳥先生、共著者となっただき、かつ学会期間中様々なサポートをしてくださった静岡大学の菊池先生にこの場を借りて御礼申し上げます。



図1 会場となった九州大学工学部



図2 九州大学の看板